

## ◆ 2010年8月からの適用開始以来、3年を経過

アクアカーテンは2010年8月、浄水場の建設工事に適用して以来、立坑、トンネル、PCタンク、橋脚、水路、シールド、橋台、ケーソンなど多種の構造物の建設に用いられてきました。

3年を経過して適用面積が10万m<sup>2</sup>を突破いたしました。

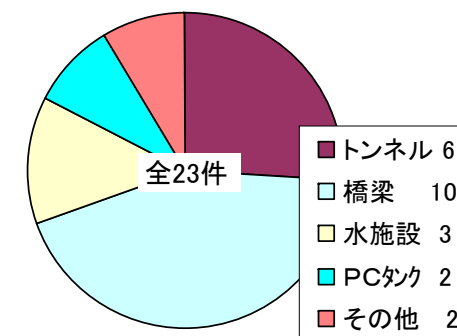
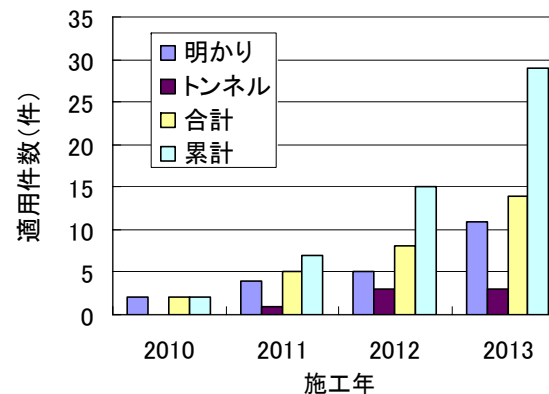
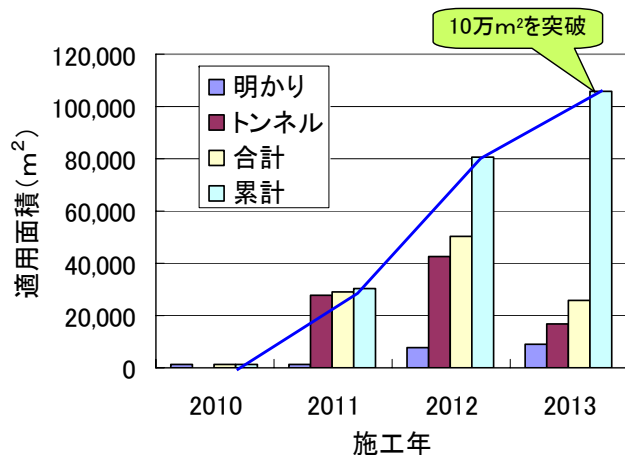
### アクアカーテンの主な歴史

- 2010/8: 川崎市の浄水場建設工事で初めて適用
- 2010/12: 建設技術展2010近畿において審査委員特別賞受賞
- 2011/2: 大分県の国道トンネル2本で本格適用
- 2011/7: ホームページ開設。
- 2011/9: NETIS登録番号:HR-110011-A
- 2012/5: 2012年日本コンクリート工学会賞(技術賞)受賞
- 2012/5: 平成23年土木学会賞【技術開発賞】受賞
- 2012/12: Journal of Civil Engineering and Architectureに掲載。
- 2013/2: ARIC情報に登録:登録番号:1032
- 2013/5: 東京土木施工管理技士会が開発者を優良技術者表彰
- 2013/5: First International Conference on Concrete Sustainability (ICCS 13)において投稿論文が最優秀技術賞を受賞
- 2013/11: 適用面積が10万m<sup>2</sup>を突破

適用構造物を明かり(一般構造物)とトンネル覆工に区分して、適用年ごとに整理しました。

適用面積は、やはりトンネル覆工が多いと言えます。

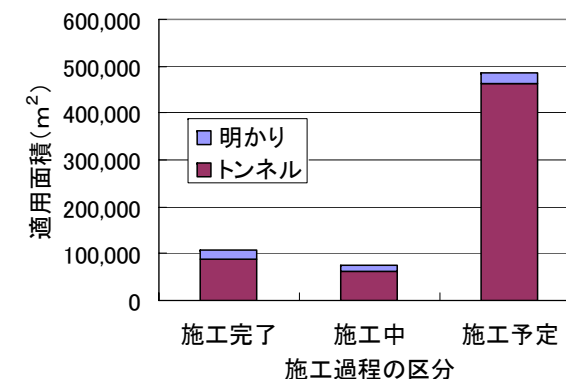
区分した適用件数を見ると現時点までは、明かり構造物が多くなっています。



## ◆ 今後の適用予想

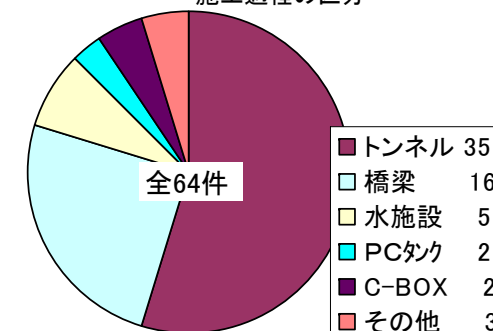
- ◆ 過去3年間で適用面積が10万m<sup>2</sup>、
- ◆ 現在施工中の適用面積も約10万m<sup>2</sup>
- ◆ 2014年8月までに適用を始める予定面積が50万m<sup>2</sup>

今後急速に適用面積が増加していくものと考えています。



適用予定件数を含めた構造物の区分と件数は、トンネル覆工が半数以上、明かり構造物では橋梁が多くなっています。

橋梁については、橋脚や橋台の下部工、柱頭部、箱桁などの上部工と適用部位が多様となっています。



**アクアカーテンは総合評価入札における有力な提案技術としてだけでなく、工事受注後の技術提案においても有効な技術として期待されます。**